

平成 28 年度日本獣医師会小動物臨床講習会(中部地区)

(小動物臨床部会第 2 回講習会) の開催

平成 28 年 10 月 23 日 (日) 万代シルバーホテルにおいて、平成 28 年度日本獣医師会小動物臨床講習会中部地区(小動物臨床部会第 2 回講習会)が開催されました。今回は日本獣医師会が主催、新潟県獣医師会が担当となっております。

開催にあたり、司会進行は鈴木正芳副部会長、あいさつは楠原征治会長理事と小嶋佳彦部会長でスタートしました。

講習会は「伴侶動物が関わる人と動物の共通感染症」のテーマで、日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医公衆衛生学研究室教授の丸山総一先生からご講演いただきました。参加登録者は獣医師が 45 名(部会員 27 名、部会員外 18 名)、動物看護職関連の参加者が 12 名(動物看護師 6 名、動物看護専門学校職員 2 名、動物看護専門学校生 4 名)、当日参加者は獣医師が 40 名(部会員 24 名、部会員外 16 名)、動物看護職関連の参加者が 14 名(動物看護師 8 名、動物看護専門学校職員 2 名、動物看護専門学校生 4 名)でした。

講演内容は人と動物の共通感染症の総論、各論として犬、猫、エキゾチックアニマルから感染する疾病の発生状況、症状、治療や予防についてでした。私たちの身近にある猫ひっかき病から狂犬病、オウム病、鳥インフルエンザなど 13 疾患を詳しくご説明していただきました。

「OneWorld,OneHealth」世界は切り離すことのできない緊密さで繋がっており、人、動物、環境を含めた健康の維持には 1 つの国だけではなく地球規模で対応する必要があるということです。その中で私たち獣医療関係者は、人と動物の共通感染症の専門職として重要な役割を担っているのだと教えていただきました。

今回は家畜保健衛生所、新潟市食肉衛生検査センター、新発田食肉衛生検査センターの先生方、また他県からもご参加いただき、ありがとうございました。

なお、第 3 回講習会は平成 29 年 1 月 8 日に開催予定です。今後も小動物臨床部会の事業にご協力をお願いいたします。



講演される 丸山総一 先生



受講の様子